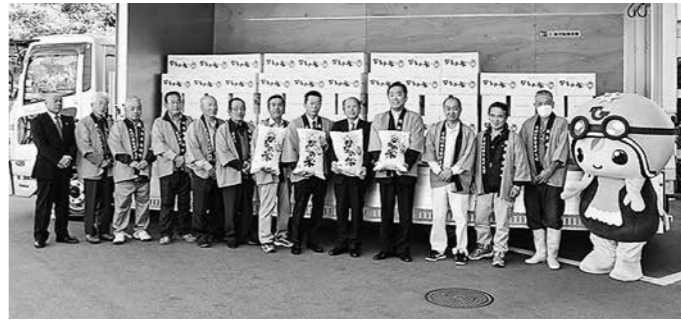


産特別栽培米コシヒカリや広野産米で造った日本酒などを返礼品として送付し、本町の魅力をPRするとともに、平成31年度においては、返礼品の魅力向上に努めます。



ふるさと応援寄付金返礼品出発式

農地の担い手農家への集約を目指し、関係機関と連携して町内七地区のほ場整備事業に取り組みとともに、農地中間管理事業の推進に努め、「人・農地プラン」の実質化を図ります。また、農業振興と農業後継者を確保するため、広野町農業次世代人材育成奨学金により、その修学に必要な資金を貸付し、農業経営の安定と優れた農業担い手

選定委員会を開催し、パナソニックホームズ株式会社を選定しました。開発事業者と連携しながら早期完成を目指します。広野駅周辺整備は、「広野駅周辺整備の基本事項に関する協定」に基づきJR東日本と協議を進め、駅西口トイレの整備に続き、駅構内こ線橋および未来のかけ橋のバリアフリー化に着手し、誰もが安心・安全に利用できる環境整備に取り組みます。

イノベーション・コースト構想の推進につきましては、双葉地域における廃炉などの研究開発拠点のバックオフィスの役割を果たし、双葉地方の復興に寄与できるよう取り組んでいきます。構想の具体化の推進を図るために、より速く構想を実現するために、産学官で目標を共有し、今後の浜通りにおける産業が目指していく方向性、その実現に向けて必要となる実施体制、情報発信のあり方や交流人口の拡大を含む取り組みが重要であります。

当町に立地する「県立ふたば未来学園高校」は、480名の高校生が、自立協働、創造の校訓のもと、日々勉学、クラブ活動に励んでおります。本年4月には併設型中学校が開校し、81人の中学生が入校します。魅力

の確保を目指します。

**被災地域テレワーク推進事業**  
の導入につきましては、町民の柔軟な働き方ができる雇用環境、特に子育て世代の就労機会の拡大を図り、若者の定住拡大につなげることを目的として、平成29年度にふくしま未来テレワーク「おらげ」を立ち上げました。今後も更に内容の充実を図り、雇用の拡大に向け取り組んでいきます。

**雇用の創出**につきましては、広野駅東側開発地区や広野工業団地への新規企業の誘致を進めるとともに、新たに除染廃棄物などの置き場として土地利用を図っていた東町地区仮置場を産業団地として再整備を行い、積極的な企業誘致を推進していきます。また、平成33年運転開始を目指し本格着工した広野火力発電所内の高効率石炭火力発電（IGCC）は、地元雇用の拡大が期待されます。

**（仮称）文化交流複合施設整備事業**につきましては、広野幼稚園有効活用検討委員会からの提言内容を最大限に尊重し、新たなコミュニティの場、町民の憩いの場となるよう整備を図っていきます。

町民号運行事業につきましては、平成29年度に続き、震災後3回目となり、町民から広く参加を募集します。

**「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組**につきましては、**第五次広野町勢振興計画**および**第二次国土利用計画**を策定しました。これらの計画で示している基本理念や将来像と方向性が、総合戦略で目指すまちづくりと一致していることから、広野町総合戦略を町勢振興計画の特に若い世代における移住・定住促進、新たな人の流れ、まちづくり、産業分野の戦略的ビジョンとして位置付け、広野スタイル創出事業などに取り組みます。

総合戦略で示すまち・ひと・しごと創生を実現するには、より効果的・効率的に取り組むを進めるとともに、その効果を検証していきます。

**復興関連事業の継続**につきましては、広野町復興計画に掲げる基本理念・目的を達成するため、シンボル事業として位置付けている広野駅東側開発の整備を進めるなど、諸施策を実施していきます。復興整備事業、町づくり施策の実施にあたって

加を募り、住民同士の絆を深める有意義な事業とします。

**広野町コミュニティ助成制度**  
につきましては、町内コミュニティの維持、強化のため、行政区に対して交流会など開催の際の費用の補助を引き続き実施します。

### ③『未来をつくる町』について

**広野町子ども子育て支援事業計画**に基づき、子ども子育て支援の各種事業を推進しておりますが、本計画は、平成31年度までの事業計画となっており、平成31年度が計画の見直し時期となっております。子どもと子育て世代の幸せな未来を見据えて、平成32年度から始まる**新たな子ども子育て支援事業計画**を策定します。

町の未来を託す子どもたちの健やかな成長を育む土台となるべく、整備を進めておりました**幼保連携型の認定こども園**は、去る2月末日をもって園舎本体の工事が終了しました。4月には約80名の子どもを迎え、「広野こども園ひろば」**として開園**します。

**子ども園の駐車場などの整備**は、本年6月末の竣工に向けて、工事期間中は保健センター、児童館、こども園を利用する皆様

は、福島再生加速化交付金を始めとした国・県補助金などの財源確保に努め、**健全な財政運営**に努めます。

**ふたば未来学園整備事業**につきましては、福島県教育庁は、本年4月に開校する中高一貫校について、併設型中高一貫教育校のメリットを活かしたコンパクトで機能的な施設、国際教育、環境教育などの多様な教育活動や個々に応じた指導や共同学習を展開できる柔軟な運用が可能な本校舎施設を総合グラウンド西側土取場跡地に、屋外運動施設のサッカーグラウンドを下北迫字岩作地内に、通学困難な生徒のための寄宿舎を駅東側に整備しています。

町は、整備事業の完了に向けて、福島県教育庁に協力していきます。

**防災拠点道の駅ひろのの整備**につきましては、敷地内から発生する土砂が、これより、受入先の富岡町に搬出されます。今後とも関係機関と連携を強化し事業の推進に取り組んでいきます。

本道の駅整備につきましては、町民が積極的に関わる「協働」による道の駅整備とし、民意との合意形成を図りながら整備を進め、平時は地域振興、町民の憩いの場となり、有事の際は防災の拠点としての機能を発

にはご迷惑をお掛けすることがないように、各施設利用者の安全を第一に事業を進めていきます。

**児童館**においては、80名を超える児童の入館が予定されており、将来を担う子ども達が、明るく、元気に、健やかに過ごせるよう指導体制も含め環境整備に取り組みます。

**教育全般**につきましては、これまで実践してきた「広野町教育ビジョン」に基づく魅力ある教育活動を展開しつつ、「広野町幼小中魅力化提言書」の5つの項目を具現化することを目標に掲げ、ふたば未来学園中学校・高校との連携を見据えながら、広野町立学校独自の魅力の創出を図っていきます。

**ICT教育推進事業**につきましては、新学習指導要領において、「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられた情報活用能力についてプログラミング教育を通して育成するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、本町の教育実態に即した新たなICT環境の整備に努めます。

**グローバル教育推進事業**につきましては、新学習指導要領に掲げられた外国語教育の充実を揮する施設として整備を進めていきます。



道の駅土取り説明会

林業専用道「柴橋東黒森線」につきましては、林業専用道の開設により、幹線となる林道を補完し森林施業における路網と組み合わせ、間伐材などの安全かつ確実な運搬が可能になるなど、継続的な木材輸送機能の強化を図られます。年度内の完成を目指します。

**ふくしま森林再生事業**につきましては、上浅見川地域より、間伐などの森林整備と表土の流出を防止するなどの放射性物質対策を一体的に実施し、森林の有する多面的機能の維持と放射性物質の拡散防止を図ることを目的として計画的に取り組まます。平成31年度においては、土



広野中学生海外交流派遣事業

図るため、外国語指導助手を活用した英語教育に加え、広野中学生海外交流派遣事業・小中学校児童生徒合同でのブリティッシュヒルズ異文化交流宿泊体験事業を実施します。

**ふるさと創造・映像教育プロジェクト事業**につきましては、中学1年生を中心に映像制作を行い、ふるさと広野町の良さを再発見し、伝統と文化を見つめ直すことで、広野町の未来と地域の復興に貢献できる子どもたちを育成する「ふるさと創造学」に取り組みます。

**復興拠点の整備**につきましては、広野駅東側は、東口広場整備に続き、広野駅東側開発第2期で計画している住宅地整備について、3月5日に開発事業者

目木、上田郷、後作など、およそ52ヘクタールの整備を目指します。

**環境対策**につきましては、各地区のごみステーションにおいて、指定ごみを収集日以外に出されている事案や不要となった家電などを空き地や林道敷に不法投棄している事案もありません。これらについて、家庭ごみ収集日カレンダーの配布、広報などによるマナーの周知を行うとともに、環境美化推進員の見回りと公害対策審議会並びに**広野町安心・安全ネットワーク会議**を通じ、関連事業所などへの注意喚起に取り組みます。

**除染対策**につきましては、引き続き住民の放射線からの不安払拭並びに生活圏における放射線の状況について情報提供するため、一般家屋および公共施設の敷地における環境放射線モニタリング調査を実施します。また、東町仮置場にある除去土壌など除染廃棄物は、環境省において平成31年度内に全て中間貯蔵施設へ輸送する予定となっております。輸送にあたり交通安全などの防止策を講じるよう引き続き求めていきます。輸送の間は、放射線量の測定を行うなど安全管理を徹底し、除染廃棄物の搬出後は、早期に原形復旧を行います。